



写真1・盛り上がったけん玉サバイバルバトルゲーム大会の様子。今年も会場の至るところでけん玉をする子どもたちの姿が見られました。写真2・廿日市市から全国デビューを果たした歌手の香川裕光さん。廿日市市への愛があふれる歌詞やトークと、優しい歌声で観客を魅了しました。写真3・新はつかいち観光親善大使の吉永さん（左）と田中さん（右）。



超絶市民リポーター決定

一人一人が広報マン
あなたも市民リポーターに!

市民リポーターから投稿された写真と記事を市フェイスブックに掲載し、年間で最も「いいね」をされた記事の投稿者を「はつかいち超絶市民リポーター」として認定しています。

平成27年度の超絶市民リポーターは、橋本和宗さん。投稿したのは、佐方川土手に地域の皆さんが植えた桜がライトアップされた様子を紹介した記事。記念品として、賞状と各地域の名産品詰め合わせが贈られました。



写真は、超絶市民リポーターの橋本さん。「これからも市の魅力を発信していきたいです」と話してくれました。

第27回はつかいち桜まつり

春の風にそよぐ
満開の桜のトンネル

昭北グラウンドで4月3日に「第27回はつかいち桜まつり」が行われました。会場横の600mの桜並木は満開。来場者の目を楽しませました。出店も特産品を使った店が数多く並び、今年も廿日市市の魅力がたっぷり詰まった祭りとなりました。

また、はつかいち観光親善大使の交代式も行われ、廿日市の新たな顔として第14代の吉永美来さんと田中美奈代さんがデビューしました。任期の3年間、市内外で観光宣伝やイベントなどで市をPRするため活動します。



はつかいち市民ミュージカル

歌あり、ダンスあり、
年に一度の大舞台

3月12日、さくらびあ大ホールではつかいち市民ミュージカル第17回公演が行われました。

演目は「真夏の夜の夢」。ウィリアム・シェイクスピア作の喜劇を下地に、作り上げた今作。開演前から長蛇の列ができました。年に1度の舞台公演。中学生から50代の大人まで総勢23人のキャストが演じました。6月から練習が始まり、本番間近の1月からは週3回以上の練習をこなしてきました。



劇中の一場面。喜劇を基に作られた今作。キャストの演技はもちろん、ダンスや歌、舞台演出に力が入られ、観客を魅了しました。

中央市民センターリニューアル

特色あふれる
新たな地域活動の拠点に

4月2日に中央市民センターの新館オープニングイベントが開催されました。

祝賀セレモニーでは、中央市民センターの登録クラブなどが歌や踊りを披露し、屋外では飲食のバザーが出店されました。

地域連携ルームや地域の歴史を紹介する歴史コーナーなど特色あるスペースが整備され、新たな地域活動の拠点としての活用が期待されます。



多目的ホールのステージでは、廿日市小学校の4～6年生の有志による、廿日市和太鼓「米」が演奏されました。

木のまちはつかいち振興フェア

木の可能性を
探る、親しむ2日間

4月2日と3日にサンチェリーでASTCアジアトライアスロン選手権の30日前PRイベントとして、「木のまちはつかいち振興フェア」が開催されました。金剛寺小学校の児童がミニ錦帯橋の組み上げを体験。棟梁の海老崎桑次さんは「限られた長さの木だけでも工夫すれば橋を造ることができる。自分で考えてみる、絶対にあきらめないということを感じてほしいです」と話してくれました。



けん玉教室や工作体験、家具メーカーによる家具販売など、木に触れ、親しむことができる会場となり、家族連れでにぎわいました。

歯周炎は万病の元

歯

「は毎日磨いとるけん、歯槽膿漏なんかありやせん」と思っている人、いませんか？

の中に入り、全身の臓器にばらまかれ、いろいろな病気を悪化させます。

実際、動脈硬化の起きている血管や早産を起こした産婦の胎盤では、本来あるはずのない歯周病原菌が見つかっています。

歯周炎（歯槽膿漏）は「軽い慢性炎症」で、症状がないうちに徐々に進行し、歯の周囲の骨が壊され、最後には歯が抜けてしまう怖い病気です。40歳以上の日本人の約8割が歯周炎を

持っているといわれています。最近、この歯周炎が全身の病気に関係していることが分かってきました。

歯周炎になると、歯と歯茎の間に「歯周ポケット」という深い溝ができます。この溝の中には、1gあたり1000億個という糞便に匹敵する多くの細菌の塊（歯垢）が付着しています。このため、歯周ポケットの壁は炎症で腫れ、血管が充血して太くなっているため、歯ブラシが当たっただけでもすぐに出血します。

この太くなった血管から、歯周病原菌や炎症によって作られるさまざまな物質が簡単に血液

中に「歯周ポケット」という深い溝ができます。この溝の中には、1gあたり1000億個という糞便に匹敵する多くの細菌の塊（歯垢）が付着しています。このため、歯周ポケットの壁は炎症で腫れ、血管が充血して太くなっているため、歯ブラシが当たっただけでもすぐに出血します。

この太くなった血管から、歯周病原菌や炎症によって作られるさまざまな物質が簡単に血液

中に「歯周ポケット」という深い溝ができます。この溝の中には、1gあたり1000億個という糞便に匹敵する多くの細菌の塊（歯垢）が付着しています。このため、歯周ポケットの壁は炎症で腫れ、血管が充血して太くなっているため、歯ブラシが当たっただけでもすぐに出血します。

歯周炎は糖尿病の重要な合併症の1つですが、逆に、腫れた歯肉から出される物質がインスリンの働きを邪魔し、糖尿病を悪化させるのです。

生活習慣などが関係して起きるII型の糖尿病患者さんを対象に広島県歯科医師会が行った研究では、歯周炎治療で糖尿病が改善したと報告されています。

歯周炎は軽く扱われがちですが、軽く見てはいけません。長期に存在することで全身の健康状態を悪くする可能性がある恐ろしい病気です。

「全身の健康はお口から」、口の健康を保ち、健康長寿を目指すためにも、ぜひ、歯医者さんに行って定期検診を受けましょう。

歯医者嫌いのあなた！歯周炎は待ってくれませんか？



佐伯歯科医師会
廿日市支部
みやうちしのぶ
宮内 忍 先生

なるほど 健康講座

問い合わせ
健康推進課 ☎ 20-1610